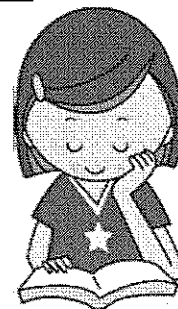


図書館だより 第2号

向陽高校図書館 発行 2020. 5.7

★先生方のおすすめ本〈第一弾〉★

4月23日は全国で読書活動をすすめる『子ども読書の日』でした！
「何かいい本ないかなあ」って思っているなら、向陽高校の先生がオススメする本を読んでみるのはどうでしょう！
温かい日差しのなかで新しい世界を楽しみましょう！！



(新) 遠山 秀史 校長先生

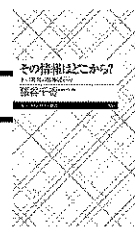
『世界の果ての通学路 (DVD)』 パスカル・プリッソン監督 (キノフィルムズ)

どうして、子供たちはそうまでして学校に向かうのか。新型コロナウイルスの影響で自宅学習を余儀なくされている皆さんに見てもらいたい作品です。



(新) 橋本 翔太 先生 (第一学年部・数学科)

『その情報はどこから? ネット時代の情報選別力』 猪谷 千香 著 (ちくまプリマー新書)
本のタイトルにもあるように情報選別力の大切さについて、私たちにも起こりうるトラブルや、いろいろな技術が事例とともに紹介されています。ネットが必要不可欠になった時代に生きるからこそ、ぜひ読んでほしいです。



(新) 松井 悠介 先生 (教務部・数学科)

『冷たい密室と博士たち』 森 博嗣 著 (講談社)

アニメやドラマになった「すべてがFになる」の続編小説です。トリックの緻密さが素晴らしい密室殺人の推理小説で、深く考えるのが好きな人に大変おすすめです。



が付いている本は、現在向陽高校図書館にある本です！ ない本は近日中に入ります！

(新) 前川 尚毅 先生 (生徒指導部・地歴・公民科)

『天空の蜂』 東野 圭吾 著 (講談社)

“天空の蜂”と名乗るテロリストと“日本政府”との「原発」をめぐるサスペンス小説です。

実際に起こりうる内容の小説です。

3.11で原発の被害、放射線の被害が表面化・深刻化し、さらに、現代では「ドローン」を用いればこの小説と同じ状況になってしまうということから、読み進めました。同じ電車に乗り合わせた乗客の様々な人生が書かれた小説です。難しい表現もなく、普段本を読まない人でも読みやすい本だと思います。



(新) 人見 節子 先生 (第一学年部・英語科)

『あと少し、もう少し』 瀬尾 まいこ 著 (新潮社)

中学校の弱小陸上部が、寄せ集めのクセあり部員で駅伝大会出場を目指す物語。それぞれの選手にそれぞれのストーリーがあり、ちょっと頼りない顧問の先生がそこうまい具合に絡んでいく。そして大会の結果は…!?一緒に駅伝を走っている…感覚に襲われました。

(新) 北山 達也 先生 (教務部・国語科)

『邪馬台国はどこですか?』 鯨 統一郎 著 (創元推理文庫)

「邪馬台国はどこですか?」「ブッダは悟っていなかった?」「イエスは処刑から生き延びた?」「織田信長の最期は自殺だった?」

歴史の授業では取り扱われないような様々な珍説が繰り広げられている作品です。確かにそうかもと納得してしまうような内容もあって非常に読み応えのある一冊です。

※登校した際、図書館の本を借りることができます。御家族の人も借りることができます。皆さんの来館をお待ちしています。

(新)石黒 真美 先生 (保健部・スクールカウンセラー)

『ブッタとシッタカブッタ』シリーズ 小泉 吉宏 著 (KADOKAWA)

シッタカブッタくんが、ブッタさんと一緒に人生について考える。くすっと笑えてうーんと考えさせられる、ゆるくて深い本です。

小寺 竜典 先生 (進路指導部・地歴公民科)

『ペスト』カミュ 著 (講談社)

新型コロナウイルスが世界的に拡大する今こそ読みたい古典的名作。ペストに襲われつつある町。恐怖の拡大・混乱・パニック。死者累々の悲惨。極限状況下の利己的で卑怯な行為や互いの非寛容。人を、町を救うための高潔で勇氣ある行い。協力・連帯。大切な人を失った喪失感、大切な人と過ごすひとときの安らぎの尊さ。困難の中の人間と社会が、時にクールに静謐に、時に熱くドラマティックに活写されています。

勝田 泰弘 先生 (進路指導部・英語科)

『ニッポン幸福戦略』桜 雪 著 (光文社)

東大卒の地下アイドル「仮面女子」の一人が、起業家・社長・学者・クリエイターらと対談した内容が書かれています。10年後の世界はどうなっているのか。現代を鋭く読み解いて、未来を見る目を養う。とても面白く読める本です。絶版になっていたらゴメンナサイ。

山中 朋彦 先生 (第二学年部・国語科)

『戦場のコックたち』深緑 野分 著 (東京創元社)

コック兵のチームと調理兵の仲間達による謎解きミステリー!

え?幽霊の声が聞こえてきたって!?

なぜ!?!知らないパラシュートを集めてる??

様々な謎にチームと仲間達が力を合わせて立ち向かいます。

のめり込みこと間違いなし!あとチームが作る料理にお腹が鳴っちゃうかも?

ぜひ読んでみてね。



山中多美子 先生 (進路指導部・理科)

『窓から逃げた100歳老人』ヨナス・ヨンソン 著 (西村書店)

とにかく愉快です。次はどうなるか、ハラハラさせる展開で予測を裏切ってくれます。世界の歴史上の著名な人物と主人公の関わりが生き生きと描かれ、何だか本当の出来事のような錯覚に陥りました。最強の100歳だと思います。是非、読んで笑ってください。

乙野 勇太 先生 (第一学年部・国語科)

『日本の給料&職業図鑑』給料BANK 著 (宝島社)

様々な職業と気になる仕事内容、そして給料について分かりやすく書かれています。

まだ将来のことを考えられていない人、そして将来について早めに考えておきたい人におすすめです。

板東 慎二 先生 (第三学年部・理科)

『へんないきもの』早川いくを 著 (新潮文庫)

昨年、校門付近でカマキリが死んでいるのを見つけました。車にでもひかれたのでしょうか。そのカマキリの死骸の横に焦げ茶色の長い奇妙なものがありました。これが噂に聞くハリガネムシかとピンとききました。今まで人から話を聞いたことはありませんが、見るのは初めてでした。かつてセンター試験にも出題されたこともあります。おそろおそろ触ってみました。死んでから時間がたっているからかも知れませんが、堅くてハリガネムシの名前が納得できました。こんな変な生き物が世の中にいるものなんですね。

武内 美月 先生 (第二学年部・数学科)

『ままならないから私とあなた』朝井リョウ 著 (文藝春秋)

無駄なことはとことん切り捨てていく天才少女の薫と、無駄なものにこそ人のあたたかみが宿ると考える雪子のすれ違う友情と人生の行方を描いた作品です。